

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	上智大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ジョウチダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	「グローバル・インターンシップ(短期・長期)」「経済同友会連携インターンシップ」「ボルボ・グループインターンシップ」
	学部・研究科等名	グローバル教育センター
	担当教職員名・役職	グローバル教育センター長 小松太郎 他
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	85
	受入企業等数	30
	受入企業等名	企業、国連・国際機関、報道機関など
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,3.海外インターンシップ,4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	・OJTのように実務の現場に入って、会議資料の作成等を行う・グループ単位でブランドイメージ向上、新規事業提案、問題提起などの課題に取り組み、関係者に対して発表する 等
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次以上
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	短期:2単位、長期:6単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学と協定を結んだ実習先でインターンシップ(就業体験)をし、事前・事後講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目(選択科目)の単位が付与される。就業・実務経験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気づきを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められる科目である。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している,3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	学生が担当教職員と、E-mail等でインターンシップの状況報告や相談を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全5回の事前学習において、インターンシップの目的・求められる姿勢の理解促進(第1回)、インターン生として働く上で求められる素質や心構えについての講義(第2・3回)、事前準備指導・誓約書作成・保険手続(第4回)、マナーガイダンス(第5回)を実施している。海外インターンシップは、これに加えて危機管理ガイダンスを行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	各実習先での就業体験と自らの学びがどのようにつながったのかを振り返る目的で、担当教員と当該科目を履修した学生がグループワークを実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生にレポート作成を課すことで、インターンシップ前後の変化を捉えるとともに、学生の自己理解、学びの深化を促している。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している

要素⑤	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	短期:10日以上、長期:3ヶ月以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	各実習先任意の日程で、10日以上(長期インターンシップは3ヶ月以上)の期間を確保できる日程を調整の上、学生を派遣している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業等にご理解いただいた上で、そのニーズにも応えられるようにするため、プログラム設計の段階から参画いただいている。また、インターンシップ開始前～終了まで、まだ次回への申し送りの一連のプロセスについて、受入企業担当者と本学職員で密に連絡を取り合い、スムーズな受入の実現、負担感の軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/internship_course.html">https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/internship_course.html</a>
問い合わせ先	大学等名	上智大学
	担当部署名	グローバル教育センター
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	03-3238-3737
	メールアドレス	goglobal02-ofc@sophia.ac.jp